

暑かった夏が嘘のように、急に涼しくなり、朝晩は寒いほどに寒暖差のある日が続いています。それに加えて、対外的にも校内においても行事が目白押しで、忙しい毎日に精神的なストレスなども重なり、そのせいで体調を崩している生徒が少し見られます。

規則的な生活習慣を大切にして、滋養に富んだ食事、十分な睡眠と休養を確保することで、健康に生活できるよう期待しています。そして、短くなったと言われる”秋”の季節を、学校においても家庭においても、みんなで味わい、満喫してほしいと思います。

## さわやか、新人総合大会！

各学年便りにも掲載されていますが、26日（水）27日（木）（27日は卓球競技のみ）の2日間にわたり、耶麻地区新人総合体育大会が開催されました。本校からは卓球部と剣道部が出場し、選手が少なくチーム編成もままならない中、大変充実した成績を収めることができました。まとめると以下のような成績でした。

- <卓球競技> 男子団体 第3位  
男子個人（1年シングルス） 優勝 齋藤 匡希君（1年）  
女子個人（オープンシングルス）ベスト8 齋藤 優佳さん（2年）  
// （1年シングルス） // 清野ひよりさん（1年）
- <剣道競技> 女子団体 第2位  
女子個人 第1位 長谷川佳音さん（2年）  
// 第2位 和田 紀香さん（2年）

以上の結果ですが、成績には表れないけれども、さわやかに全力でプレーする姿はとても立派だったと思います。応援も大きい声でしっかりできました。その素直な心で真剣に取り組む姿勢が見られたことが一番の収穫だったと思っています。

また、後から聞いたのですが、当日の朝、早い出発であったにもかかわらず、見送りと応援に駆けつけてくれた3年生がいたということ。驚いたと同時に高郷中生の優しさと伝統のありがたさを感じました。これもまた、心温まる思いがしました。

これからの成長と活躍が期待できる、すがすがしい気持ちの残る2日間でした。お疲れ様でした。



## 『少年の主張福島県大会』！

7月21日に行われた喜多方大会最優秀賞の結果を受け、さらに書類選考を経て出場の決まった少年の主張福島県大会が9月20日（木）、白河市のコミネスというところで開催されました。出場した3年生の和田修一君が堂々とその主張を発表しました。

県大会には県内各地から16名の中学生が出場し、日常生活で感じたり考えたりしていることを発表しました。さすがにその内容は深く、強い主張でどの主張も考えさせられる、感動を覚えるものでした。

題材は、学校内での部活動や日常生活で体験したことに取材したもの、震災後の暮らしと地域のこと、障害を持った人たちに対する差別の問題や将来の夢などさまざまでしたが、どの主張においても共通しているのは、社会に生きる一員として、中学生としての自分がどう関わっていくのか、自分は今からどういう生き方をしていくのかを真摯に真剣に考えていることでした。

和田君の主張もその点において、とても誠実な心の有り様を示しているものでした。あらためてその主張を讃えたいと思いました。

※和田修一君に感想を書いてもらいました。



僕は7番目の発表だったので、気楽にできました。井上先生に指導してもらったおかげで今までの練習の成果を十分に発揮できました。僕以外の発表者は僕とは違う表現の工夫や強弱の仕方です。いろいろ参考になりました。結果は優良賞でしたが、県大会まで連れて行ってくださった井上先生やその他の先生にはとても感謝しています。

## 高郷小・中学校授業研究会が開かれました！

9月14日（金）の5校時目に高郷小・中学校の先生方が一堂に会し、高郷中学校を会場として授業研究会が開催されました。この会のねらいは、小中学校が連携を図り、両校の学校生活における状況や授業の様子を理解するとともに、なお一層の学力向上を図ることにあります。1年生の音楽の授業と3年生の英語の授業を分かれて参観し、その後授業研究会を持ちました。

授業での生徒の様子は、少し緊張しながらも、普段通りの真剣な授業態度で、1、3年生とも先生の発問や指示に一生懸命答える様子が見られました。

学力向上はどの学校においても喫緊の課題といわれています。このような取り組みを重ねていくことで、高郷地区の子どもたちの学力向上が図られるよう、一丸となって取り組んで生きたいと思えます。



## メディア・セレクト週間「オフスクリーン喜多方っ子運動！」

実施日 平成30年10月1日（月）～10月5日（金）

10月2日（火）は本校の中間テストとなっています。そのテスト準備、テストの反省そして何より普段のメディアコントロールの習慣を身につける機会として、ぜひご協力ください。！